

科目名	ビジネスマナーⅠ	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1年次			
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的・目標とする資格・検定等)	・接遇の心構えをふまえて、言葉遣い、人格的マナー等社会人としての基礎の習得を指導します。 ・敬語、ビジネス電話応対、冠婚葬祭マナーの基礎を指導します。 ・教本を軸として、様々なケースをロールプレイングを織り交ぜて授業を行います。 ・社会人として即戦力となるビジネスマナーと心遣いを習得すべく指導していきます。							
授業の一般目標	社会人・企業人として仕事をしていく上での心構え・ビジネスマナーを習得する							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)	教本（知っておきたいビジネスのマナー）、電話応対模擬機材、配布プリント							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	社会人・企業人としての基本的なマナー・ルールの理解							
☑ 思考・判断の観点	社会人として常識的な行動・言動を習得する							
☑ 関心・意欲の観点	物事に積極的に取り組む意欲を養う							
☑ 態度の観点	社会人としてふさわしい言動・心構え・身だしなみを身につける							
☑ 技能・表現の観点	正しい言葉遣い・あいさつ・行動等、コミュニケーション能力を高める							
授業計画（全体）	・教本を軸として、様々なケースをロールプレイングを織り交ぜて授業を行います。 ・特に電話応対は模擬対応機を使用し、実務に即した応対を指導します。 ・言葉については正しい日本語・敬語・ビジネス独特の言葉遣いを指導し、若者言葉を正します。 ・社会人として即戦力となるビジネスマナーを習得すべく指導していきます。							
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等	授業外学習の指示等		授業の記録				
1～2	自己紹介文作成、自己紹介	宿題		プリント				
3～4	第1章 社会人としての心構え 1, 2	宿題		P 5～12、プリント				
5～6	第1章 社会人としての心構え 3	宿題		P 13～17、プリント				
7～8	第2章 ビジネスコミュニケーション 1, 2	宿題（クッション言葉）		P 19～23、プリント				
9～10	第2章 ビジネスコミュニケーション 3	宿題（敬語）		P 24～25、プリント				
11～12	第2章 ビジネスコミュニケーション 4	宿題（敬語）		P 26～29、プリント				
13～14	第2章 ビジネスコミュニケーション 5, 6, 7, 8, 9	宿題		P 30～34、プリント				
15～16	第3章 電話応対 1, 2	宿題		P 35～41、プリント				
17～18	第3章 電話応対 模擬応対実技	宿題、電話模擬対応機		プリント、電話模擬対応機				
19～20	第3章 電話応対 3, 4	宿題		P 42～46、プリント				
21～22	第3章 電話応対 5①	宿題		P 47～49、プリント				
23～24	第3章 電話応対 5②	宿題		P 51～52、プリント				
25～26	補足資料 冠婚葬祭（冠・婚のしきたり）	祝儀袋、宿題		P 3、プリント				
27～28	補足資料 冠婚葬祭（葬・祭のしきたり）	不祝儀袋、宿題		P 4～5、プリント				
29～30	前期試験実施							
成績評価方法								
1 期末試験（筆記）								
2 授業態度								
3 提出物（宿題）								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○						80	秀、S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート			○				10	良、B（2）：70点以上
授業態度				○			10	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	池田美和子		実務経験紹介	https://urbangrace.jp/				

科目名	ビジネスマナーⅡ		単位数	1	科目コード			
授業形態	講義		時間数	30	開設期	1年次		
受講条件			開設時期	1 後	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	・接遇の心構えをふまえて、言葉遣い、人格的マナー等社会人としての基礎の習得を指導します。 ・来客応対、訪問のマナー、食事のマナー、手紙・ビジネス文書の書き方、個人情報保護法の基礎を指導します。 ・就職活動に必要な基本動作、立ち居振る舞いについて実技を交えて指導します。 ・教本を軸として、様々なケースをロールプレイングを織り交ぜて授業を行います。 ・社会人として即戦力となるビジネスマナーと心遣いを習得すべく指導していきます。							
授業の一般目標	社会人・企業人として仕事をしていく上でのビジネスマナー・社会常識を習得する							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)	教本(実践ビジネスマナー)、配布プリント、名刺、湯飲み、茶托、お盆、カップ、ソーサー、割り箸等							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	社会人・企業人としての基本的なマナー・ルールの理解							
☑ 思考・判断の観点	社会人として常識的な行動・言動を習得する							
☑ 関心・意欲の観点	物事に積極的に取り組む意欲を養う							
☑ 態度の観点	社会人としてふさわしい知識・言動・身だしなみを身につける							
☑ 技能・表現の観点	正しい言葉遣い・あいさつ・行動等、コミュニケーション能力を高める							
授業計画(全体)								
教本を軸として、様々なケースをロールプレイングを織り交ぜて授業を行います。 名刺交換の仕方や、応接室や廊下、エレベーターを使用時のロールプレイングも実施します。 就職活動時に必要な基本動作や立ち居振る舞いについて実践を交えて指導します。 社会人として即戦力となるビジネスマナーを習得すべく指導していきます。								
授業計画(授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～2	面接対策 面接の目的・受付でのマナー			宿題プリント		プリント		
3～4	面接対策 面接でのマナー・立ち居振る舞い			宿題プリント		プリント		
5～6	第4章 来客応対 1, 2, 4, ロールプレイング 1, 名刺作成			名刺、宿題プリント		P32～37、40～42、プリント		
7～8	第4章 来客応対 3, P85 名刺			名刺、宿題プリント		P38, 39, 85、プリント		
9～10	第4章 来客応対 5, ケースディ1			宿題プリント		P43～45、プリント		
11～12	第4章 来客応対 6, 7, 8 お茶・廊下・階段・エレベーター			宿題プリント		P46～53、プリント		
13～14	第4章 来客応対 9, 10, ケースディ2			宿題プリント		P54～56、プリント		
15～16	第6章 訪問のマナー1, 2, ロールプレイング 6(席次・紹介順序)			宿題プリント		P78～86、プリント		
17～18	第6章 訪問のマナー2, 3, 資料編3			宿題プリント		P82, 86, 88, 89, 95, 96、プリント		
19～20	手紙の書き方 手紙の基本・お礼状			便箋、封筒、切手、宿題プリント		プリント		
21～22	手紙の書き方 お詫び状・封筒			便箋、封筒、切手、宿題：手紙(礼状)と封筒を書く		プリント		
23～24	資料編5 テーブルマナー			割り箸、宿題		P101～104、プリント		
25～26	ビジネス文書			宿題プリント		プリント		
27～28	個人情報保護法					プリント		
29～30	後期試験実施							
成績評価方法								
1 期末試験(筆記)								
2 授業態度								
3 提出物(宿題)								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○						80	秀、S(4)：90点以上
小テスト							評価なし	優、A(3)：80点以上
宿題授業外レポート			○				10	良、B(2)：70点以上
授業態度				○			10	可、C(1)：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E(0)：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	()内はGPA点数
担当教員	池田美和子			実務経験紹介	https://urbangrace.jp/			

科目名	色彩概論Ⅰ	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1年次			
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	色の基本的な特性等を理解し、配色を効果的にすることで、心理的、生理的影響の知識を身につけ配色調和のバランスをとることができる。							
授業の一般目標								
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)	色彩検定 公式テキスト 3級編 過去問題集2024年度3級 新配色カード 199a							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点 PCCS色相環、トーンを理解し、配色デザインやファッション、インテリアの色彩計画に生かすことができる。								
☑ 思考・判断の観点 配色理論に基づき、効果的な配色を考え論理的に説明出来る。								
☑ 関心・意欲の観点 色彩に関する関心を広げ、日常から色彩センスを磨く努力をする。								
□ 態度の観点								
□ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
色彩技能検定3級合格を目指し、公式テキストの内容を理解する。 日常生活で目的に合った効果的な配色が出来るようになる。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	色の三属性 カラーカード分け							
3～4	色の三属性 PCCS							
5～6	PCCS 色相環							
7～8	PCCSトーン							
9～10	配色理論							
11～12	配色理論 色彩心理							
13～14	色彩心理、商品パッケージ分析							
15～16	光と色 眼の構造							
17～18	光と色 照明							
19～20	混色ワーク 混色例							
21～22	対比、同化							
23～24	対比、同化 3色配色 作品発表							
25～26	ファッションカラー インテリア							
27～28	イメージ配色作品制作							
29～30	模擬試験 イメージ配色作品発表							
成績評価方法								
(1)授業の中で小テスト、グループワークを数回行う。								
(2)グループワークでまとめたレポートを発表。								
(3)配色ワークで作成した作品を発表、提出する。								
(4)最後に試験を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○					20	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度			○				10	可、C（1）：60点以上
発表・作品	◎	○			○		20	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	田村 絵里子		実務経験紹介	https://profile.ameba.jp/ameba/paleililac-colorlab				

科目名	色彩概論Ⅱ	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1年次			
受講条件		開設時期	1 後	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	色の基本的な特性等を理解し、配色を効果的にすることで、心理的、生理的影響の知識を身につけ配色調和のバランスをとることができる。							
授業の一般目標								
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)	色彩検定 公式テキスト 3級編 過去問題集2024年度3級 新配色カード 199a							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点 PCCS色相環、トーンを理解し、配色デザインやファッション、インテリアの色彩計画に生かすことができる。								
☑ 思考・判断の観点 配色理論に基づき、効果的な配色を考え論理的に説明出来る。								
☑ 関心・意欲の観点 色彩に関する関心を広げ、日常から色彩センスを磨く努力をする。								
□ 態度の観点								
□ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
色彩技能検定3級合格を目指し、公式テキストの内容を理解する。 目的・コンセプトに沿った効果的な配色が出来るようになる。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	色の三属性 カラーカード分け							
3～4	色の三属性 PCCS							
5～6	PCCS 色相環							
7～8	PCCSトーン							
9～10	配色理論							
11～12	配色理論 色彩心理							
13～14	色彩心理、商品パッケージ分析							
15～16	光と色 眼の構造							
17～18	光と色 照明							
19～20	混色ワーク 混色例							
21～22	対比、同化							
23～24	対比、同化 3色配色 作品発表							
25～26	ファッションカラー インテリア							
27～28	イメージ配色作品制作							
29～30	模擬試験 イメージ配色作品発表							
成績評価方法								
(1)授業の中で小テスト、グループワークを数回行う。								
(2)グループワークでまとめたレポートを発表。								
(3)配色ワークで作成した作品を発表、提出する。								
(4)最後に試験を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。なお、出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	秀、S（4）：90点以上
小テスト	◎	○					20	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度			○				10	可、C（1）：60点以上
発表・作品	◎	○			○		20	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	田村 絵里子		実務経験紹介	https://profile.ameba.jp/ameba/paleililac-colorlab				

科目名	プレゼンテーション	単位数	1	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	1年次			
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	新たなアイデアを生み出すことのみならず、それを他者に正しく・分かりやすく伝え、説得する・共感を得る能力が求められるようになっていく社会状況を鑑み、PBL等も含めた今後の様々な場面で活用できるプレゼンテーションスキルの向上をはかる。							
授業の一般目標	自らのアイデアや意見を他者に分かりやすく伝えられるようになる。プレゼンテーション用の資料作成ができるようになる。							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点 論理的で分かりやすいプレゼンテーションの仕方や資料作成ツールの使い方などの方法論や技術を身に付けられたか								
☑ 思考・判断の観点 他者の視点に立った工夫ができたか								
☑ 関心・意欲の観点 プレゼンテーションスキルの必要性を理解し、関心を持って臨んでいたか								
☑ 態度の観点 授業に積極的に参加できていたか								
☑ 技能・表現の観点 アイデアを相手に正しく伝えられるよう表現できたか・分かりやすい資料を作成できたか								
授業計画（全体）								
プレゼンテーションの仕方や資料作成の仕方について演習を通じて学習します。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	オリエンテーション・自己紹介							
3～4	プレゼン練習（質問を受けてみよう）							
5～6	プレゼンテーションとは・プレゼンテーションの構成							
7～8	canvaを使用した資料作成							
9～10	canvaを使用したプレゼンテーション（発表準備）							
11～12	canvaを使用したプレゼンテーション（発表）							
13～14	プレゼン①準備（構成）							
15～16	プレゼン①準備（資料作成）							
17～18	プレゼン①発表							
19～20	プレゼン②準備（構成）							
21～22	プレゼン②準備（資料作成）							
23～24	プレゼン②発表							
25～26	プレゼン③準備（構成）							
27～28	プレゼン③準備（資料作成）							
29～30	プレゼン③発表							
1 授業内で下記観点から評価を行う。								
2 授業最終課題提出によって下記観点から評価を行う。								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	○	○	◎	◎		50	秀、S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度			◎	◎			20	可、C（1）：60点以上
発表・作品	○	○	○	○	○		30	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	吉田 昌乗		実務経験紹介		https://www.tansan.co/			

科目名	発想技法	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	1年次			
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的・目標とする資格・検定等)	ソーシャルスキルを「社会生活に必要な、対人関係を円滑に築き維持するための技術（コツ）」と捉え、それを身に付ける演習を通じて、ヒューマンスキルの向上をはかる。／新たなアイデアを生み出すことの必要性を理解し、単なるひらめきで終わらずに「発想したものを実社会に落とし込む」ところまでをスキルとして体得する。							
授業の一般目標	感情をマネジメントでき他者とのコミュニケーションが支障なく取れるようになる。／アイデアを生み出すさまざまな方法論を演習を通して身に付ける							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 さまざまな場面でどう振る舞うかなどの方法論を身に付けられたか								
☒ 思考・判断の観点 他者の視点に立った工夫ができたか								
☒ 関心・意欲の観点 ソーシャルスキル／発想技法の必要性を理解し、関心を持って臨んでいたか								
☒ 態度の観点 授業に積極的に参加できていたか								
☒ 技能・表現の観点 授業ごとの目標に応じた表現ができたか・他者とのコミュニケーションが支障なく取れるか								
授業計画（全体）								
他者との接し方やさまざまな場面での振る舞い方などについて演習を通じて学習します。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	オリエンテーション・ss1:自己紹介							
3～4	ss2:質問をする							
5～6	ss3:感情を理解する・伝え方を考える							
7～8	ss4:自分の意見を論理的に伝える							
9～10	ss5:冷静な議論をする							
11～12	ss6:計画を立てる							
13～14	ss7:問題を解決する							
15～16	発想技法1:アイデアとは・アイデアの作り方							
17～18	発想技法2:発想法紹介①							
19～20	発想技法3:発想法紹介②							
21～22	発想技法4:発想法紹介③							
23～24	発想技法5:コンペ①							
25～26	発想技法6:コンペ②							
27～28	発想技法7:コンペ③							
29～30	発想技法8:コンペ④							
1 授業内で下記観点から評価を行う。								
2 授業最終課題提出によって下記観点から評価を行う。								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎			○	◎		20	秀、S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度	○	◎	◎	◎	○		60	可、C（1）：60点以上
発表・作品					◎		20	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	吉田 昌乗		実務経験紹介		https://www.tansan.co/			

[illegible]

科目名	ビジネスマナーⅢ	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	2年次			
受講条件		開設時期	2 前	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	・就職活動における面接試験等の実践力を身につけるべく指導します。 ・ロールプレイングを通して、受付や面接時の立ち居振る舞いを指導します。 ・就職活動時に必要な書類の書き方、アピールの仕方等を指導し、試験対策を行います。 ・社会人として即戦力となるビジネスマナーを身につけるべく指導します。							
授業の一般目標	就職活動対策、社会人として即戦力となるビジネスマナー・社会常識の習得							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)	教本（面接対策&ビジネスマナー）、SPIテキスト、配布プリント							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点 社会人としての基本的な知識や動作を習得し、就職活動に対する知識を深める								
☑ 思考・判断の観点 社会人として常識的な行動・言葉遣いを習得する								
☑ 関心・意欲の観点 物事に積極的に取り組む意欲を養い、就職活動に取り組む								
☑ 態度の観点 社会人としてふさわしい知識・言動・身だしなみを身につけ、就職活動に活かす								
☑ 技能・表現の観点 正しい言葉遣い・就職活動における面接、試験対策をワークを通して習得する								
授業計画（全体）								
1年生時に学んだビジネスマナーを基に、教本・プリントを使用して就職活動対策を行います。 面接についての考え方や対策、就職活動に必要な書類の書き方、試験対策を指導します。 会社訪問・面接時の立ち居振る舞い等の実践を、ロールプレイングを交えて行います。 社会人として即戦力となるビジネスマナーを習得すべく指導していきます。								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	自己分析・自己PR 作成		宿題：筆記試験対策（次週回収・答え合わせ）		P56～67			
3～4	志望動機作成		宿題：筆記試験対策（次週回収・答え合わせ）		P68～73			
5～6	企業訪問のマナー		宿題：筆記試験対策（次週回収・答え合わせ）		P80～87			
7～8	面接の目的・形式・段階		宿題：筆記試験対策（次週回収・答え合わせ）		P46～55			
9～10	面接のマナー 受付～控室～入退室		宿題：筆記試験対策（次週回収・答え合わせ）		P88～91			
11～12	面接練習①		宿題：筆記試験対策（次週回収・答え合わせ）		P92～99			
13～14	面接練習②		宿題：筆記試験対策（次週回収・答え合わせ）		P92～99			
15～16	作文対策 志望動機		宿題：筆記試験対策（次週回収・答え合わせ）		プリント			
17～18	作文対策 自己PR		宿題：筆記試験対策（次週回収・答え合わせ）		プリント			
19～20	スピーチ対策①		宿題：筆記試験対策（次週回収・答え合わせ）		P100～103			
21～22	スピーチ対策②		宿題：筆記試験対策（次週回収・答え合わせ）		P100～103			
23～24	就職試験対策実践①		宿題：筆記試験対策（次週回収・答え合わせ）					
25～26	就職試験対策実践②		宿題：筆記試験対策（次週回収・答え合わせ）					
27～28	就職試験対策実践③							
29～30	後期試験実施							
成績評価方法								
1 期末試験（筆記）								
2 授業態度								
3 提出物（宿題）								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○						80	秀、S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート			○				10	良、B（2）：70点以上
授業態度				○			10	可、C（1）：60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	池田 美和子			実務経験紹介	https://urbangrace.jp/			

科目名	動画企画演習Ⅰ	単位数	3	科目コード				
授業形態	演習	時間数	90	開設期	2年次			
受講条件		開設時期	2 前	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	本講義では、動画制作の基本的な知識と技術を学び、短尺の動画作品を制作します。動画の企画、撮影、編集、音響など、動画制作に必要な一連の流れを学び、実際に制作を通してスキルを磨きます。							
授業の一般目標	簡単な動画を制作することができる。							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 動画企画の基本的な方法を習得できる								
☒ 思考・判断の観点 音声や音楽を動画に効果的に挿入できる								
☒ 関心・意欲の観点 積極的に参加できている								
☐ 態度の観点								
☒ 技能・表現の観点 動画編集ソフトの基本的な操作を習得できる								
授業計画（全体）								
この講義を通して、動画制作に興味を持ち、基礎的なスキルを身につける。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～6	基本的な設定							
7～12	動画に関する基礎情報技術							
13～18	制作演習 - ワークフロー							
19～24	制作における基礎知識							
25～30	デザイン概論							
31～36	映像素材							
37～42	制作演習 - 素材加工・組み合わせ							
43～48	制作演習 - トランジションの有用性							
49～54	テーマ制作A-1							
55～60	テーマ制作A-2							
61～66	テーマ制作B-1							
67～72	テーマ制作B-2							
73～78	試験課題							
79～84	試験課題							
85～90	試験課題、講評							
成績評価方法								
1 授業内で小課題を行う。								
2小課題並びに授業最終課題提出によって下記観点から評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品			◎	◎	○		50	不可、E（0）：59点未満
演習	○	○	◎	◎	○		50	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はG P点数
担当教員	茄子川 導彦		実務経験紹介					

科目名	動画企画演習Ⅱ	単位数	3	科目コード				
授業形態	演習	時間数	90	開設期	2年次			
受講条件		開設時期	2後	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	本講義では、動画制作の基本的な知識と技術を学び、短尺の動画作品を制作します。動画の企画、撮影、編集、音響など、動画制作に必要な一連の流れを学び、実際に制作を通してスキルを磨きます。							
授業の一般目標	簡単な動画を制作することができる。							
受講条件								
事前学習について (テキスト・参考書等)								
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点		動画企画の基本的な方法を習得できる						
☑ 思考・判断の観点		音声や音楽を動画に効果的に挿入できる						
☑ 関心・意欲の観点		積極的に参加できている						
☐態度の観点								
☑ 技能・表現の観点		動画編集ソフトの基本的な操作を習得できる						
授業計画（全体）								
この講義を通して、動画制作に興味を持ち、基礎的なスキルを身につける。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～6	導入 動画制作環境							
7～12	動画制作に使用する技術							
13～18	音声とBGM							
19～24	デザインがもたらす影響							
25～30	テーマ制作C-1							
31～36	テーマ制作C-2							
37～42	テーマ制作C-3							
43～48	テーマ制作C-4							
49～54	テーマ制作D-1							
55～60	テーマ制作D-2							
61～66	テーマ制作D-3							
67～72	テーマ制作D-4							
73～78	試験課題							
79～84	試験課題							
85～90	試験課題、講評							
成績評価方法								
1 授業内で小課題を行う。								
2 小課題並びに授業最終課題提出によって下記観点から評価を行う。								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度							評価なし	可、C（1）：60点以上
発表・作品			◎	◎	○		50	不可、E（0）：59点未満
演習	○	○	◎	◎	○		50	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はG P点数
担当教員	久保 俊介		実務経験紹介					

[illegible]

科目名	PBLⅢ	単位数	2	科目コード	
授業形態	演習	時間数	60	開設期	2年次
受講条件		開設時期	2後	教員実務経験対象	有
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	生徒が自ら問題を見つけ、さらにその問題を自ら解決する能力を身に付ける学習を通じて、ヒューマンスキルの向上をはかる。				
授業の一般目標	企業や団体・自治体との連携を通して現実社会での課題解決に貢献する。				
受講条件					
事前学習について (テキスト・参考書等)					
授業の到達目標					
☑ 知識・理解の観点	思考法やプロジェクトの進め方などの方法論を身に付けられたか・協力企業／団体の状況について正しく理解できたか				
☑ 思考・判断の観点	さまざまな段階で状況を進展させるアイデアを出せるか				
☑ 関心・意欲の観点	問題解決能力の必要性を理解し、関心を持って臨んでいるか				
☑ 態度の観点	授業に積極的に参加し、チームに貢献できているか				
☑ 技能・表現の観点	アイデアを相手に正しく伝えられるよう表現できるか・協力企業／団体の課題を解決できたか				
授業計画（全体）					
アイデアの出し方、発表の仕方について演習を通じて学習します。					
授業計画（授業単位）					
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録
1～4	オリエンテーション				
5～8	企業紹介				
9～12	リサーチ・着想・発案練習				
13～20	プロトタイピング・テスト練習 講評				
21～32	リサーチ・着想・発案				
33～36	中間発表①				
37～44	プロトタイピング・テスト①				
45～48	中間発表②				
49～56	プロトタイピング・テスト②				
57～60	最終成果発表				